

(国語科)

**相手の気持ちを考えて話し合うことができる集団を育てる
～聞く・話す・話し合う活動を中心にした国語科の学習を通して～**

大阪市立東中川小学校 学力向上部

1 研究の内容

国語科の研究を進めるにあたっては、以下の3つの視点を決めた。

- 人の話をよく聞いてから、自分の意見を持つことができるか。
- 場面に応じた、適切な話し方ができているか。
- 互いの立場や意見を尊重して、話し合い活動ができているか。

2 成果と今後の課題

国語科の研究では、「聞く」「話す」「話し合う」活動を意識して学習を進めた。年度当初に年間計画を立て、段階的に計画的に研究を進めた。各学年ごとに課題を設定し、個に応じた支援を心掛けた。自分で考えたじゃんけんを説明したり（1年）、自分の宝物を分かりやすく紹介したり（2年）、物語の「しかけ」に気づくような話し合いをしたり（3年）、みんなで作った「俳句の歌」を校内外で発表する活動を計画・実施したり（4年）、物語の人物像について意見交換したり（5年）、ディベート・討論会を体験したり（6年）、おまつりごっこを子どもたちが協力し合って実施したり（なかよし）と、それぞれの発達段階に応じた授業を実践できた。また全学年が、ワークシートを効果的に活用していた。

3つの視点ごとには、以下のような成果があった。

○ 人の話をよく聞いてから、自分の意見を持つ工夫

実践を進める中で、相手の言い分にも耳を傾けたり、落ち着いて話し合いをしたりすることができるようになってきた。

各学年の実態に合わせて、段階を踏まえた実践が行えた。低学年では「自分たちで考えたり調べたりしたことを発表し、話し合う活動」をした。発表するためには、他の人の話をしっかり聞いて準備をする必要があることを、「聞き方あいうえお」を使って指導した。中学年は「メモや原稿を作成して、相手に伝える」活動をした。ここでも、下調べの段階から人の話をよく聞き、要点をまとめる学習ができた。また伝える方法についても、子どもたちが（提案・準備・実施まで）話し合って決めることができた。高学年は「ディベートや話し合い」の活動を、子どもたちが主体的に行うことができた。昨年度の学習経験を生かして、スムーズにできるようになった。

「話は最後まで聞く」「人の意見を聞いて、自分の考えを持つ」という指導を徹底した結果、話し合いのルールを守れる集団が育ってきた。

○ 場面に応じた、適切な話し方をする工夫

「ていねいな話し方」を指導し、「正しい話型」ができるように指導した。「聞き

方あいうえお」「話し方かきくけこ」「発表の仕方」「ディベートの方法」など、発達段階に合わせた指導法を提示することで、スムーズに授業が行えた。

また「ペア」「小グループ」「大グループ」「学級全体」「学年全体」など、様々な場面を設定することで、場面に応じた適切な話し方が身に付いてきた。声の大きさや、役割分担（司会・記録など）を考えた話し合いもできるようになった。

また、系統だった指導法を模索する中で、同じ教材を発達段階に合わせて他学年でも活用したり、ワークシートを学年の系統性も考えながら改良したりした。「ヒントカード」や「ハンドベルを使った合図」など、指導方法の工夫も図ってきた。

○ 互いの立場や意見を尊重して、話し合い活動をする工夫

「友だちの意見を尊重する」実践を重ねることで、話し合い活動が活発になった。その結果、互いの違いを認め合う集団が育ってきた。また教え合う活動が、自然な形で行えるようになっていく。個性を大切にしたい指導の成果が、実を結ぶようになった。話し合いの形式については、3人程度の小集団での話し合いが効果的であることを確認できた。

低学年で話し合いの基本を定着させることで、その後の実践がスムーズに行えることを実感できた。学年が上がるごとに、活発な意見交換ができるようになっていく。たとえ自分とは反対の意見であっても、素直に耳を傾けたり賞賛したりできる集団に育って来た。

課題としては、以下のような点が挙げられる。

- ・ 3人程度の小グループでの効果的な話し合いが、学級全体の話し合いにも反映されるようにする（役割分担や話し合いの形式の工夫など）。継続的に指導すると共に、話し合いの場の設定を工夫する。そのための指導法も工夫する。
- ・ 研究授業後も、計画的に長期間に渡る実践を行う。実践記録も有効活用する。
- ・ 研修の機会を増やし、指導者間の情報交換を密にする。短時間でより効果的な指導を目指したい。
- ・ ハンドサインや発表の仕方以外の指導方法（話し合いの心構えやディベートの段階を踏んだ指導など）についても、系統立てて行えるようにする。
- ・ 実践した学習を、日常生活で生かせるように工夫する。相手の立場や気持ちを考えて行動できる子どもを育てる。